

「暗いところを明かりをつけ、さらに世の中を明るくする」ことを使命に、仙台の華電気(本社・仙台市若林区)が創立して今年で60年。「人脈こそビジネスの基本」をモットーに、本業の電気工事はかりでなく、環境分野やコンピュータソフト開発にも業務を拡大している。平間修一社長に今後の展望などを聞いた。

当時、仙台に進出した大手建設会社や地元の建設会社の手伝い、官公庁からの受注も増えて、53年にX橋東側に移転。その後は74年の東北新幹線開通に伴って、現在地の若林区大和町に移転しました。昭和30、40年代の高度成長とともに受注も拡大して、現在の売上高は3月決算で9億円程度です。受注比率は、官が20

％、民間が80％で、民間主体の営業です。経営方針は、平間 利益率重視型の経営です。技術力と他社との差別化です。それが仕事を取る力、営業力になります。社員20人全員で50ページの行動指針を作りまし

た。ISOも取得し、資格手当てなども取り

創業60年。生き残るためには仕事を創っていくこと

華電気株

代表取締役社長

平間 修一 氏



ひらま・しゅういち

1949年仙台市生まれ。慶応大学商学部卒業後、仙台の会計事務所などに勤務。74年華電気に入社。93年社長に就任。05年会長。06年社長就任。妻の平間百合子さんは、プロのピアニストとして著名。馬道2段。茶道江戸千家流。ギター、ジャズ歌手と趣味は多岐。

得たり、資格手当てなども取り

入れ、社員の資格を取ることに力を入れていきます。社屋の敷地が3630平方メートルあるため、賃貸の不動産活用も行っていきます。ただ本業で赤字では、会社を畳むぞと語っています。社長の人脈は広いですね。

平間 ライオンズクラブやロータリークラブ、また青年会議所などさまざまな会に参加していましたが、会そのものも創っています。だいたい15人程度の会で、6つか7つあります。ほとんどが情報交換の会で、経営者同士のものもあります。伸びている企業を真似ることも大事です。

新しい情報を持っていない人は、だめです。ギブアンドテイクですから、人脈こそビジネスの基本です。そこから仕事を創っていきます。

先代社長も世話好きで、さまざまな会の幹事役や世話役をやってきました。D

平間 誤合問題なども含め、建設業は変わろうとしています。これからは特に、営業力をつけていかないと生き残れません。では安くとも取らざるを得ないかというところ、それはいいません。よい仕事をやっていくことで、さらに営業力が増します。会社を伸ばすために皆さんの力をお借りしたい。もちろんこちらからも情報を返します。5年後に内外問わず、次の社長を指名したいと考えています。仕事を取ってくださる人です。



牛たん焼きを
仙台名物にしたお店

味の牛たん
牛たん
助